

平成 15 年 12 月 24 日

「未踏ソフトウェア創造事業」
プロジェクトマネジャー候補のご推薦について

情報処理振興事業協会
未踏ソフトウェア創造事業事務局

拝啓

当協会は来年 1 月 5 日をもって独立行政法人 情報処理推進機構となり、略称としての IPA はそのまま継承いたしますが、新生 IPA として、新たなスタートを切ることになっております。そこで、新生 IPA は 2008 年 3 月末までの 4 年 3 ヶ月の間、『創造』、『安心』、『競争力』を基本理念とする中期目標に従って、今まで以上に事業への責任を持ち、効率的かつ効果的な業務を進めていくことが重要なことと考えております。

さて、当協会では、平成 12 年度から我が国のソフトウェア分野において優れた能力を有する開発者（いわゆる天才/スーパークリエイター）を発掘・育成するために、「未踏ソフトウェア創造事業」を実施しています。本事業は、情報技術分野における有識者からなるプロジェクトマネジャー（PM）の眼力によって、開発プロジェクトの提案を評価し、PM の指導のもとに開発目標を定めて成果を求める事業です。

本事業の要となる PM については、平成 16 年度事業の準備を進める上で、速やかに人選を行う必要があります。新たな PM の選任に当たっては、従来から、広く有識者の方より PM 候補をご推薦頂き、その中から数名を選任することとしております。また、今回は広く一般の方からも PM 候補のご推薦（自薦および他薦）を頂いて事務局推薦として数名の PM 候補を取り上げ、上記有識者の方からの推薦と併せて検討させていただきたいと考えております。

つきましては、下記をご一読の上、PM 候補として適任と考えられる方をご推薦頂きたく、よろしく願いいたします。ご推薦にあたりましては、別紙の推薦書に候補者および推薦者に関する必要事項をご記入の上、1 月 7 日（水）までに FAX あるいはメールにて事務局宛てご送付いただきたく、よろしく願い申し上げます。なお、ご推薦いただいた個々の内容については「未踏ソフトウェア創造事業」事務局から外部へ出ることはありません。

なお、プロジェクトマネジャー（PM）は産学の有識者にお願いすることとしており、産業界の候補も積極的にご推薦頂ければ幸いです。

更に、今後の未踏事業における PM の選任及び事業運営の改善の参考とさせて頂くために、可能であれば、未踏ソフトウェア創造事業のプロジェクトマネジャー（PM）のイメージについて、あなたのご意見をお聞かせ下さい。

敬具

記

1. 事業趣旨

我が国における IT 分野の成功事例をみると、ゲームソフトウェア分野や携帯電話など独創的な技術で世界をリードする分野がみられるものの、その数は少なく、ソフトウェア関連分野で独創的な技術やビジネスシーズを有した人材の発掘は経済産業政策上ますます重要な課題となっている。

このため、当協会では、政府の進めるミレニアム・プロジェクトの一環として、平成 12 年度が

ら、未踏ソフトウェア創造事業を実施している。

本事業は、法人や団体を対象に行っているソフトウェア開発支援事業とは異なり、我が国の情報技術分野の中で得意とする分野を持つ産業界・学界の有識者からなるプロジェクトマネージャー（PM）が、企業や大学、国の研究機関に勤める、あるいはフリーで活躍するソフトウェア技術者からの提案をPM個人の眼力によって評価し、独創的ですぐれた能力を有する開発者（いわゆるスーパークリエーターの卵）を発掘し、開発者の能力に応じたPMの指導のもとに開発成果を得ることを目的に事業を実施している。

2. 本年度（平成15年度）のプロジェクト・マネージャー（敬称略）

喜連川 優 東京大学 生産技術研究所 戦略情報融合研究センター長
紀 信邦 日本エンジェルズ・インベストメント株式会社 取締役
田中 克己 京都大学大学院 情報学研究科 教授
近山 隆 東京大学 新領域創成科学研究科 教授
徳田 英幸 慶應義塾大学 政策・メディア研究科委員長 環境情報学部 教授
萩谷 昌己 東京大学大学院 情報理工学系研究科 コンピュータ科学専攻 教授
増井 俊之 独立行政法人 産業技術総合研究所 情報処理研究部門招聘研究員
村岡 洋一 早稲田大学 理工学部情報学科 教授
Alan Kay(アラン ケイ) President, Viewpoints Research Institute

平成14年度から
PMを継続して
頂いている方々

石田 亨 京都大学大学院 情報学研究科 教授
伊知地 宏 ラムダ数学教育研究所 代表
鵜飼 文敏 日本ヒューレット・パッカー株式会社
ヒューレットパッカー研究所 主幹研究員
梅村 恭司 豊橋技術科学大学 情報工学系 助教授
加藤 和彦 筑波大学 電子・情報工学系 助教授
坂村 健 東京大学 大学院情報学環 教授
中島 達夫 早稲田大学 理工学部コンピュータ・ネットワーク

3. 審議委員会

委員長 長尾 真 京都大学前総長

委員 新本 孫宏 シャープ株式会社 常任顧問

委員 佐野 稔 弁護士

委員 土居 範久 中央大学理工学部 教授

委員 松崎 稔 株式会社日経BP 上級執行役員 (敬称略)

4. 公募事業の概要

これまでの未踏ソフトウェア創造事業の事業概要については、下記URLをご覧ください。

(1) 平成14年度事業：<http://www.ipa.go.jp/NBP/14nendo/14mito/index.html>

(2) 平成13年度事業：<http://www.ipa.go.jp/NBP/13nendo/13mito/koubo13.html>

(3) 平成12年度事業：<http://www.ipa.go.jp/NBP/12nendo/12mito/index.html>

5 . P Mとの契約

契約形態：P MへはI P Aの「非常勤参与」発令を行うとともに、P M業務の各種事務処理について、当協会とP M及びP Mをサポートする法人との3者で契約を結びます。
契約期間：4月上旬から翌年3月上旬までの、単年度契約とする。

6 . P Mが果たすべき責務。

P Mは、ソフトウェアの現状、最新技術、課題点などを念頭において、提案書を自ら審査し、採択プロジェクトについては、開発者の能力に応じた開発目標を定め、その目標に向けたマネジメントを行う。
開発プロジェクトの公募時に、P Mが開発者に対して何が出来るかを謳ってもらい、その実現に努める。できればその関係を維持してプロジェクト終了後もフォローいただきたい。

7 . P M候補の条件

次の条件を満たすこと。

我が国の情報技術分野で得意とする分野を有する人。

(学界、産業界どちらでも結構。)

情報技術分野での研究、開発又はビジネス経験を併せて10年以上有した人。できれば年輩の人よりも若手の人。

一定の時間を割いて本事業に注力していただける人。

開発者の相談に開発者の立場に立って迅速に応えられる人。

以下について自ら作業が行える人。

・開発プロジェクトの提案書を審査できる人。

(提案書の審査数...15年度実績では、平均25件、最大53件。)

・開発プロジェクトの開発方針についてアドバイスを言い、開発目標(落としどころ)を定められる人。

・開発プロジェクトの実施において、進捗状況の把握に努められる人。

任期は、原則2年とするが、1年で辞められても良いこととする。ただし、年度途中で辞任しない人。

8 . 平成16年度の事業スケジュール(予定)

1月下旬	審議委員会開催、P M候補優先順位付け
2月上・中旬	P M候補者からの内諾を得る。
2月中旬 公募開始	公募要領の策定 (公募対象分野、P Mとして何が出来るか明記。)
3月末頃 提案書応募締め切り	
4月中旬～5月中旬	提案書を全て審査し、採択理由、不採択理由を作成。
6月上旬 プロジェクト開始	開発目標の策定(開発者に対し、指示。)
6月～1月	適宜、進捗管理
2月下旬 プロジェクト終了	開発プロジェクトの評価

以上